

# ふるさと歴史アラカルト

## 芥川龍之介と岩国

芥川龍之介(1892-1927)は、『羅生門』『地獄変』などの作者として、また現在は「芥川賞」という文学賞があることから、多くの人々に知られています。今回は龍之介と岩国の関わりを紹介します。

龍之介の実父である新原敏三は、嘉永3(1850)年に生見村(岩国市美和町)で生まれました。幕末には諸隊の一つである御楯隊に所属し、『御楯隊支配帳』の中に「山代才判生見村庄屋宗政勘右衛門存内新原常右衛門嫡大林源次」とあることから、大林源次と名を変えて隊士となっていたことが分かります。慶応2(1866)年6月に第二次長州出兵(四境戦争)が始まると、御楯隊には三田尻の守衛が命じられました。芸州口(山口県と広島県の境)の戦闘が激化すると、御楯隊は前線の部隊と交代で芸州口へと出陣しました。敏三もこれに従軍し、7月28日の戦闘で負傷しています。明治時代となって東京に出た敏三は、牛乳業を

始めて牧場の経営をしました。そして芥川フクと結婚し、後に龍之介が生まれます。龍之介は後に芥川家の養子となつたため、芥川姓を名乗っています。龍之介は「保吉もの」とも呼ばれる小説の一つ『紫山(未定稿)』の中で「幸ひにも純一無雑に江戸つ児の血ばかり受けた訳ではない。一半は維新の革命に参した長州人の血もまじっている。この血は江戸の悪遺伝を一掃したとは云ひ難いにしろ、少なくとも一新はしたのに相違ない」と書いており、自身が長州藩とゆかりがあることを認識していたことが分かります。また、大正6(1917)年6月には、軍艦に乗って由宇まで行き、その後、岩国に立ち寄ってから京都へと向かっています。その際、同じく小説家の松岡譲へ歌を送るのに錦帯橋の絵葉書を使っています。

現在、新原家の菩提寺である真教寺(美和町生見)には「本是山中人」の石碑が建てられています。

### 岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館

住所：横山二丁目7-19 ☎0452  
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)

※1 長州藩の行政単位で宰判のこと。代官が治めていた  
※2 庄屋の支配管内のこと



▶真教寺の境内にある芥川龍之介父子碑

## 岩国市 人口・世帯

人口 140,054人【前月比 - 95人】 男性 66,346人 女性 73,708人

世帯 66,438世帯【前月比 - 46世帯】 ※外国人人口を含む(平成27年12月1日現在)

交通事故発生件数 11月分事故件数 46件(471件) 死者数 0人(3人) 傷者数 53人(542人)

※高速道路発生分を除く

※( )内は平成27年累計

### 広報テレホン

休日在宅医療機関、イベント情報などをお知らせしています。テレホンサービス ☎231234

### 目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。音声読み上げのためのテキスト版を、ホームページに掲載しています。

お問い合わせはお気軽に、秘書広報課広報班へ ☎295016 FAX213337